鹿児島国体が閉幕＝東京が天皇杯獲得、鹿児島は２位

特別国民体育大会「燃ゆる感動　かごしま国体」は１７日、鹿児島市の白波スタジアムに佳子内親王（秋篠宮家次女の佳子さま）をお迎えして総合閉会式が行われた。東京が天皇杯（男女総合優勝）と皇后杯（女子総合優勝）を獲得した。開催県の鹿児島はいずれも２位だった。開催都道府県が天皇杯を逃したのは前回の栃木に続いて２年連続。

鹿児島県では１９７２年開催の太陽国体以来５１年ぶりの開催となり、会期前に実施された水泳などを除く３２の正式競技と特別競技の高校野球が行われた。国民体育大会（国体）の名称は佐賀県開催の２０２４年大会から国民スポーツ大会（国スポ）に改称されるため、「国体」の名称としては今年が最後となった。